



創立 10 周年に寄せて

第 7 回学術集会 集会長

大阪府立大学 地域保健学域

総合リハビリテーション学類 理学療法学専攻

教授 淵岡 聡

保健医療学学会創立 10 周年の記念すべき日に、この場に執筆の機会をいただきましたこと、感謝申し上げます。

2015 年某月、井上 悟 先生、小柳 磨毅 先生からお声掛けをいただき、2016 年 12 月、第 7 回学術集会の集会長を務めさせていただきました。

集会の内容については自由に設定してくださいとお言葉をいただき、当時、話題になり始めた人工知能 (AI) のリハビリテーションへの応用可能性について、大阪府立大学の中島 智晴 先生に特別講演をお願いしました。

特別講演では、コンピュータ (計算機) の処理能力向上と機械学習理論の成熟により、人工知能はビッグデータの処理方法として既に産業界への導入が進んでおり、特に ICT 産業界を中心に、販売促進戦略やより個人のニーズに応じたサービスの提供方法として実用化されていることをお示しいただきました。

その上で、易転倒傾向のある対象者の行動分析から、転倒を予測・予防するための住環境整備

への応用など、医療・介護分野への応用的研究が進んでおり、将来的なりハビリテーションへの応用について非常に示唆に富む内容でご講演いただきました。

私にとりまして、学術集会長は未経験の重責ではありましたが、これまで学術集会を運営されてきた諸先生方にご指導・ご助言をいただきながら、何とか盛会裡に開催することができました。

第 7 回集会から数年を経て、現在、大阪府立大学と大阪市立大学との統合・新大学設置に向けての具体的な作業が急速に進んでおり、リハビリテーションへの人工知能 (AI) の応用について、新大学の重点研究分野として発展させるという方向性を検討することができました。

このような貴重な機会を与えていただきました保健医療学学会に感謝申し上げるとともに、本会の構成員として、微力ながらリハビリテーション医療の発展に貢献できるよう精進する所存です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。